

## 目 次

序章 研究の目的と方法	1
第1節 研究の目的	2
第2節 研究の方法	4
第3節 論文の構成	6
第1章 読書指導の動向と課題	10
第1節 学校を取り巻く読書指導の現状	11
第1項 今なぜ「読書生活指導」は要請されるか	11
第2項 「読書活動」における「探究「Inquiry」」への着目	17
第2節 学校を取り巻く読書指導の動向と課題	25
第3節 読書指導から読書生活指導へ	33
第1項 「読書生活指導」の理論的背景	34
第2項 「読書生活指導」の史的展開	58
第2章 大村はま「読書生活指導」の実際	64
—「読書生活の記録」に着目して—	
第1節 大村国語教室における「読書生活の記録」の意義	65
第2節 1967～1968年度の「読書生活の記録」に着目して	69
第1項 「読書生活の記録」誕生までの道筋	70
第2項 1967年度2年生「読書生活の記録」の概要	71
第3項 M-GTAによる「まえがき」「あとがき」の分析	75
第4項 大村はま「読書生活の記録」実践の効果	84
第3節 「読書生活の記録」による指導の発展と展開	87
第1項 国語学習記録・「国語教室通信」との関連性	89
第2項 学習者とともに改良されていくシステムノートの形	91
第3項 探究的な読書の記録(その1)－問題の深化－	92
第4項 探究的な読書の記録(その2)－読む生活を書くことがもたらす効果－	109
第3章 大村はま「読書生活指導」の実践的提案	118
—S 50年版西尾実監修『改訂標準中学国語一～三』(教育出版)に着目して—	
第1節 中学校三年間を見通した読書生活指導の構造	119
第1項 昭和50年版『改訂標準中学国語一～三』への着目	120
第2項 「新しい読書指導」を生み出す工夫	121
—「探究的な読書」への着目	
第3項 読書生活指導の「構造化」を支える要素	124

第2節	中学校三年間を見通した読書生活指導の意義と実際(その1)……………	130
第1項	読書生活指導における『読書生活通信』の役割……………	131
第2項	読書生活指導における教師による選書の意義と実際……………	141
第3節	中学校三年間を見通した読書生活指導の意義と実際(その2)……………	168
第1項	読書生活指導における「学習の手びき」の役割……………	169
第2項	現代版中学国語教科書との比較……………	213
第4節	大村はま読書生活指導の特質と課題……………	232
第1項	大村はま読書生活指導の特質……………	233
第2項	大村はま読書生活指導の課題……………	247
第4章	「これからの読書生活指導」への実践的提案……………	251
第1節	「探究的な読書生活」の指導の必要性……………	252
第1項	学習指導要領の改訂から見えてくるもの……………	252
第2項	学習者の「読書興味・読書能力」の発達をどうとらえるか……………	253
第2節	小・中学校における「読書生活指導のカリキュラム」の構想……………	265
第1項	「これからの読書生活指導」の理論的共通理解……………	266
第2項	「これからの読書生活指導」の計画および実践の体系……………	271
第3項	学習者の実態に即した「読書生活指導システム」の構築……………	276
第3節	主体的かつ対話的・協同的な学習集団の形成……………	288
第1項	「探究共同体」の成立に向けて……………	289
第2項	主体的かつ対話的・協同的な学習集団の形成のための理論的背景……………	290
第3項	主体的かつ対話的・協同的な学習集団の形成のための実践的提案……………	292
終章	研究のまとめ……………	326
第1節	研究のまとめ……………	327
第2節	今後の課題……………	332
引用・参考文献一覧	……………	336

資料編